

ブカレスト国際空港アクセス鉄道建設計画【ルーマニア】

施策所管局課 国別開発協力第三課
 評価年月日 令和2年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	ルーマニア国
(2) 案件名	ブカレスト国際空港アクセス鉄道建設計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	<p>ブカレスト都市部において、ブカレスト市中心部からヘンリ・コアンダ国際空港間を結ぶ鉄道整備を実施することにより、同区間の輸送力増強、交通渋滞及び大気汚染の緩和を図り、もって地域経済の発展及び都市環境改善に寄与するもの。</p> <p>案件の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土木工事 ・軌道工事 ・配電・通信設備調達及び工事 ・車両・信号設備調達及び工事 ・車両基地工事 ・コンサルティングサービス <p>※うち円借款対象は、土木工事の一部、コンサルティングサービスの全額及び予備費のみ。</p> <p>ア 閣議決定日：平成22年3月9日 イ 供与限度額：418.7億円 ウ 金利：1.7%（コンサルティングサービスについては0.01%） エ 償還（据置）期間：25（7）年 オ 調達条件：一般アンタイト</p>
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会ニーズの現状</p> <p>本事業計画当初、同国の玄関口であるヘンリ・コアンダ国際空港の利用客数は、2007年のEU加盟に伴ったEU各国との経済交流強化等を背景に、2006年の約350万人から2015年には約630万人にまで増加することが予測されていた。また、市内の自動車保有台数も2012年までに1.6倍（2007年比）にあたる160万台に達すると予測されていたこともあり、増加する交通需要への対応として都市交通の整備が課題となっていた。</p> <p>2019年の同空港利用者数は約1,473万人に達しているものの、ブカレスト市中心部への移動手段はバス、タクシー、自家用車のいずれかに未だ限られている。また、自動車保有台数の増加に伴いブカレスト市内の交通渋滞は更に深刻化しており、同市の道路交通混雑の緩和及び交通公害の減少に向けた対応が引き続き必要であることから、現在も本事業に関する社会的ニーズがある。</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状</p> <p>事業遅延の主因は、ルーマニア政府の国家予算確保の遅れによるもの。同国政府はその対応策としてEUに資金供与を申請し、2019年2月、EU基金の供与がようやく決定した。</p> <p>これを受け、2019年3月に本体工事の入札が開始し、現在入札評価手続きが進んでいる。</p>

(2) 今後の対応方針	<p>本件に関する社会的ニーズが引き続きあり，事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれており，事業の進捗を妨げていた要因は解決していることから，引き続き支援を継続する。</p>
<p>3 政策評価を行う過程において使用した資料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/zyoukyou.html) ・ 国際協力機構の案件検索 (https://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php) ・ 国際協力機構の事業事前評価表 (https://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html) ・ そのほか国際協力機構から提出された資料